

筑西市の魅力を発信中!

筑西市の魅力を市内外の人へ伝えようと、様々な活動をしている人たちがいます。今回は、その中から「地域おこし協力隊」、「ちくせい観光大使」のみなさんと、たくさんの市民が撮影に参加した筑西市のPR動画をご紹介します。

地域おこし協力隊 活動レポート



市では、平成28年度から、「新しい人の流れをつくり、まちの魅力づくりを推進するため」に、地域おこし協力隊員が活躍しています。

平成29年度に活動したのは、加藤誠士さん、宇田川大介さん、石崎顕良さん。それぞれ自分の趣味や個性を生かし、お酒やおもてなし、SLなどを通じたイベントを企画・立案して地域おこしを実践してくれました。地域おこし協力隊は今後も様々な角度から市のPRをしていきますので、みなさんの応援をよろしく願います。

企画課地方創生推進室

(本庁4階) ☎24-2197



加藤誠士さん (埼玉県北本市出身)

●コメント (平成28年10月)

地酒を通じた地域おこしをテーマに、市内の酒蔵・来福にご協力いただき様々なイベントを企画しました。酒粕を使用したスイーツの喫茶を開いたり、日本酒を提供するジャズコンサートを開催したり、日本酒にプラスアルファの要素を絡めることで、新たな交流が生まれるイベントになったと思います。年に2、3回のペースでしたが、お客さんから「楽しみにしていたよ」と声をかけてもらえたことが嬉しかったです。乾杯条



例もできたので、これから若い世代にもっと地酒に親しみをもってもらいたいです。



宇田川大介さん (東京都墨田区出身)

●コメント (平成29年4月)

真岡線の待ち時間を利用して下館駅に来た人をおもてなしする「駅ナカカフェ」を主催したり、東京の商業施設やイベントで筑西市のPRをしたりしました。また、羽黒神社や下館駅北口の景観整備など、簡単に表現すると筑西市の魅力の「もと」をつくる活動をさせていただきました。



筑西市のみなさんは、「よそ者」の私にも気さくに協力してくださり、隊員となる前より更に筑西市が好きになりました。これからも様々な地域活動に参加し、地域活性化の助けをさせていただきます。



石崎顕良さん (千葉県松戸出身)

●コメント (平成29年12月)

自分の趣味であるSLを通して、筑西市のPRを行いました。毎週末、下館駅での停車時間を利用して、SLの乗客のみなさんに筑西市のPR活動を行っています。また3月には、筑西市の魅力向上には何が必要かを高校生とディスカッションする場「タムロイノバ」を開催しました。今後も定期的に開催したいと思っています。



SLの停車時間に合わせて、基本的に毎週末下館駅にいますので、気軽にお声がけください。今後は駅から市内を回遊してもらえようというPRを考えていきます。



ちくせい観光大使 活躍中です！



「ちくせい観光大使」は、現在5人で活動しています。市の情報発信強化と認知度向上を目的として、イベントなどに行き、ステージパフォーマンスやパンフレットなどを配るお手伝いをしています。

●ちくせい観光大使ソングで市をPRしています！

大使ソング「私たちからの贈り物」、「FUNK THE CHICKSEI」を各イベントなどで披露しています。

曲は、筑西市の魅力をギュッと詰め込んだ歌詞で観光大使による自作です。SNSにも動画がアップされていますので、ぜひご覧ください。

●SNSをご覧ください！

ちくせい観光大使は、SNS（フェイスブック、ツイッター、インスタグラム）のアカウントから、市の魅力や旬な話題を発信しています。



☎ 筑西市観光協会

☎ 201160

筑西市魅力情報発信映像 4月からSNSなどで順次公開予定

筑西市の
“ちく”ダンス

撮影風景 ●



(公社) 下館青年会議所のみなさん



須藤市長のダンスにも注目



明野幼稚園年長の園児たち



一般公募の市民のみなさん



楽曲は関城吹奏楽団のみなさんが演奏する歌劇『カルメン』の曲

市では、4月から筑西市の魅力をとくさん盛り込んだダンス映像を公開します。これは、出演者がちくちくと指をさすポーズで、市の良いところを紹介し、みなさんに筑西市の魅力に気付いてもらう・知ってもらう動画です。出演は幼稚園児から70代までの市民のみなさん。須藤茂市長も登場します。お友達や

親戚が映っているかもしれないので、ぜひご覧ください。完璧なダンスや歌ではありませんが、たくさんの人が一生懸命頑張ってくれました。順次、ユーチューブやホームページ、SNS（フェイスブック、ツイッター）などで公開します。

☎ 2412172

▼ツイッター



▼フェイスブック



▼ちくせいムービーちゃんねる

